

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：3月第2週目）

- 1 米国によるエネルギー政策転換で、ジンバブエの石炭産業への投資に期待
- 2 ヌーベ財務大臣、バトカ水力発電プロジェクトの協議再開を呼び掛け
- 3 ジンバブエ商工会議所、ワンゲ火力発電所の一部停止による製造業への影響を懸念
- 4 中国企業のグワンダ・リチウム鉱山社の新工場が完成
- 5 ジンバブエ貿易庁とフランス開発庁が養蜂プロジェクトを開始
- 6 外貨保有基準の見直しにより葉タバコの納入量が昨年同期比で減少
- 7 ビクトリア・フォールズのホテルが米タイム誌「世界で最も素晴らしい場所」に掲載

1 米国によるエネルギー政策転換で、ジンバブエの石炭産業への投資に期待

米国が、石炭生産でアフリカ諸国との提携を模索するというエネルギー政策の大きな転換を発表した。7日、米国ワシントンDCで開かれたアフリカ電化サミット（Powering Africa Summit）で演説したライト米国エネルギー長官は、「石炭は今後数十年にわたり主要なエネルギー源であり続けるだろう。これは政策でも願望でもなく、現実なのだ」と述べた。気候変動研究の豊富な経験を持つ科学者でもあるライト長官は、炭化水素の燃焼が地球温暖化の一因となっていることを認めつつ、経済・科学データに基づくと、気候変動は世界の問題のトップ10にも入らないと主張した。そして、経済発展よりも気候問題を優先した過去のエネルギー政策を批判し、アフリカ諸国と西側経済の両方に損害を与えたと述べた。

ライト長官は、トランプ政権は厳格な気候政策よりも人間の発展を優先する異なるアプローチを取ると強調した。そして「我々は、技術、資本投資、エネルギーインフラでアフリカと提携したいと考えている。あなた方が国民にとって何がうまくいくかを決めてほしい。我々はそれを実現するために協力する」と述べた。

サミットでの演説で、モヨ・エネルギー・電力開発大臣は「米国に、民間部門を解放してジンバブエへの直接投資が可能となるよう再度お願いしたい。ジンバブエは独立系発電業者が国内で操業することを許可している。また、企業は自社の操業用に火力発電所を設置・発電して使用し、余剰分を国の送電網に供給できる」と述べた。また、ジンバブエに豊富に存在する石炭と炭層メタン（CBM）が、電力だけでなく肥料の生産につながる可能性もあると述べた。（9日付サンデーメール紙1面）

2 ヌーベ財務大臣、バトカ水力発電プロジェクトの協議再開を呼び掛け

先週、ニューベ財務・経済開発・投資促進大臣は、米国ワシントンDCで開催されたアフリカ電化サミット（Powering Africa Summit）で、50億米ドルのバトカ渓谷水力発電所プロジェクト（Batoka Gorge Hydroelectric Power Station Project）について、ゼネラル・エレクトリック（GE）社との協議が再開されるよう求めた。このプロジェクトにより設置される水力発電所は、2400メガワットの発電能力を持ち、ジンバブエとザンビアで均等に分配されることになる。ニューベ大臣は、「我々はプロジェクトへの投資家を求

めている。GE 社は当初熱心だったが、その後 COVID により協議が中断した。COVID は終わったので、協議を再開しよう」と述べた。(10 日付ニュースデイ紙 2 面)

3 ジンバブエ商工会議所、ワンゲ火力発電所の一部停止による製造業への影響を懸念
国営電力会社 ZESA は、3 月 2 日から 29 日まで予定されている「クラス B」メンテナンスのため、ワンゲ火力発電所 7 号機を一時閉鎖すると発表した。さらに、第 6 号機は、3 月 15 日から 5 月 14 日まで法定メンテナンスのため停止される。ジンバブエ全国商工会議所 (ZNCC) カロロ会長はインタビューで、「ワンゲ発電所 6、7 号機の一時的停止は、安定した電力供給に大きく依存しているビジネス部門、特に製造業に大きな影響を及ぼすだろう」と述べ、生産スケジュールの混乱や生産量のさらなる減少を懸念した。また、電力供給が依然として課題であれば、農業部門の回復にもかかわらず、今年の予想経済成長率 6%を達成するのは難しいだろうと述べた。本紙の調査によると、企業は毎日 18 時間の停電にともなう発電機の燃料使用にすでに月額 30 万米ドルも費やしている。(11 日付ニュースデイ紙ビジネス 1 面)

4 中国企業のグワンダ・リチウム鉱山社の新工場が完成

グワンダ・リチウム社 (Gwanda Lithium Zimbabwe) は、数百万米ドル規模の工場の建設を完了し、中国へのリチウム精鉱 5,000 トンの試験出荷について 6 か月の輸出許可を取得した。これにより、リチウム濃縮物を中国に出荷できるようになる。同社は 2024 年 1 月の操業開始以来、1 日あたり約 1,500 トンのリチウム濃縮物を生産している。300 人を雇用しており、その 80 パーセントは地元民である。工場が最大生産能力に達すると、生産量は年間 100 万トンのリチウム鉱石と 20 万トンのリチウム精鉱に達すると予想されている。

5,400 万米ドル規模のこの事業は、中国のグローバル投資企業である青山ホールディングス社 (Tsingshan Holdings Limited Group) の子会社である。同社の別の子会社であるディンソン鉄鋼社 (Dinson Iron and Steel) は、2024 年、ミッドランド州ムブマに 15 億米ドル規模の工場建設を完了した。他の 2 つの子会社には、マタベレランド・ノース州ワンゲのディンソン炭鉱社 (Dinson Colliery) と、マシヨナランド・ウェスト州チェグトゥ近郊セルースのアフロチン製錬社 (Afrochine Smelting) がある。

ジンバブエのリチウム部門は、特に中国企業からの多額の投資を受けている。注目すべきプロジェクトには、ビキタ・リチウム鉱山社 (Bikita Lithium Mine) の 3 億米ドル規模のスポジュメン処理工場や、ハラレ近郊のアルカディア・プロジェクト (Arcadia project) の 3 億米ドル規模のリチウム濃縮装置などがある。(12 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面)

5 ジンバブエ貿易庁とフランス開発庁が養蜂プロジェクトを開始

ジンバブエ貿易庁 (ZimTrade) は、フランス開発庁 (AFD) を含む関係者と提携し、ジンバブエの養蜂業界の蜂蜜生産能力と競争力を高めるために、150 万ユーロ (160 万米ドル) の養蜂プロジェクト「ZimBEE」を立ち上げた。ジンバブエの蜂蜜バリューチェーンを強化し、特に農村部の人々の経済的レジリエンスを育み、より高い付加価値輸出能力

を目指す。また、ジンバブエ産蜂蜜の EU 市場への輸出のホワイトリスト入りを目指している。このプロジェクトは、フランスの農業研究・国際協力機構 (CIRAD)、Expertise France (AFD の下部組織)、ジンバブエ大学によって 30 か月間実施される。政府当局、民間セクター、研究機関、蜂蜜生産者も参加する。蜂蜜生産に大きな可能性を示しているマタベレランド・ノース、マニカランド、マシヨナランド・ウエストの各州を含む地域の 455 人の養蜂家で構成される 3 つの養蜂クラスターを対象としている。ZimTrade は、マルーラ、マンゴー、バオブバなどを使用した現地製品の輸出のための包括的な商業化戦略に取り組んでいる。(13 日付ヘラルド紙ビジネス 3 面)

6 外貨保有基準の見直しにより葉タバコの納入量が昨年同期比で減少

タバコ産業マーケティング委員会 (TIMB) によると、2025 年のタバコ販売シーズン開始 1 週間の葉タバコの出荷量が、昨年比で減少している。先月、ジンバブエ中央銀行 (RBZ) は、輸出業者の外貨保有基準を 75% から 70% に引き下げた (当館注: 輸出外貨収入のうち現地通貨への変換義務が 25% から 30% に上昇)。葉タバコ農家は、作物の投入資材を購入するための外貨が減ることを意味するとして、この措置を非難している。さらに、Zig の流動性危機により、葉タバコ販売収入の現地通貨部分を受け取ることが困難になり、農家が投入資材を購入することがさらに困難になっている。(14 日付ニュースデー紙ビジネス 2 面)

7 ビクトリア・フォールズのホテルが米タイム誌「世界で最も素晴らしい場所」に掲載

ジンバブエの最高級ブティックホテルのひとつである、ビクトリア・フォールズの「ムバノ・マナー・ホテル ([Mbano Manor Hotel](#))」が、米タイムズ紙の「世界で最も素晴らしい場所リスト 2025 年版 (Annual List of World's Greatest Places 2025)」に挙げられた。創業者であるニャゼマ・オーナーは「我々だけでなく、観光地としてのビクトリア・フォールズ、そしてジンバブエ全体にとって大変な栄誉。開業して僅か 5 年、しかもコロナ禍であったことを考えると、さらに特別なことだ」と述べた。(15 日付デイリーニューズ紙 1 面)